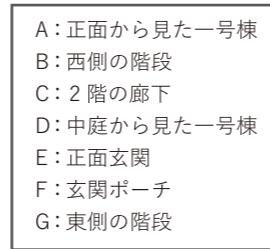


写真で見る一号棟

現在の一号棟の様子を撮影しました



日本獣医生命科学大学付属ワイルドライフ・ミュージアムのご案内

一号棟の2階には、本学付属の博物館が設置されています。博物館では、本学の歴史と日本国内でみられる野生動物に関する展示を行っています。[一号棟および博物館の見学には、事前のお申込みが必要です。](#)

見学可能日(要予約)

火曜～金曜 10:00～16:00

入館料

無料

土曜 11:00～17:00

※その他特別開館あり

休館日

日曜・月曜・祝日 / 年末年始 / 大学の定める休日

※その他臨時休館あり

利用上の注意

- 建物の都合上、エレベーターや車椅子昇降機はありません
- 展示替えや大学運営の都合により、見学のご希望に添えない場合があります
- 見学のお申込後、回答にお時間を頂く場合があります

お問い合わせ先

日本獣医生命科学大学 付属ワイルドライフ・ミュージアム

電話: 0422-31-4151(代) メール: museum@nvalu.ac.jp

※2020(令和2)年度実施予定の耐震工事の都合により、上記の情報から見学可能日等に変更が生じる場合があります

詳細は大学公式サイト内の博物館ページをご覧下さい
<https://www.nvalu.ac.jp/universityinstitution/004.html/>

発行: 2020年3月18日
発行者: 日本獣医生命科学大学 付属ワイルドライフ・ミュージアム



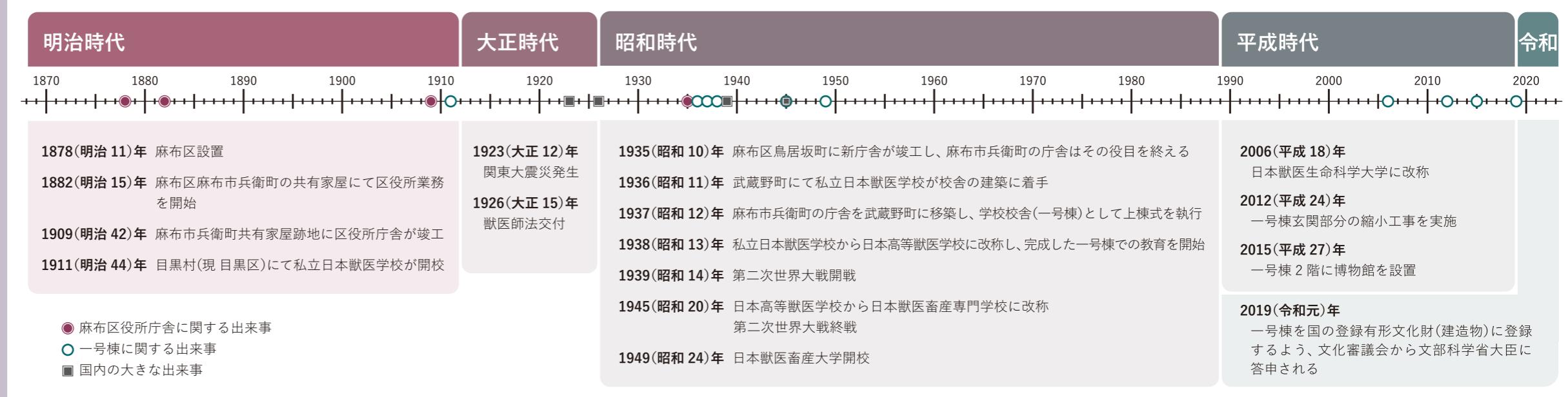
国指定登録有形文化財(建造物)

旧東京市麻布区役所庁舎

日本獣医生命科学大学一号棟

日本獣医生命科学大学
付属ワイルドライフ・ミュージアム

旧東京市麻布区役所庁舎は、都内に唯一現存する明治期の役所建築です。1909(明治42)年に東京市麻布区麻布市兵衛町(現東京都港区六本木3丁目)に竣工した後、1937(昭和12)年に武蔵野町(現武蔵野市)に移築され日本高等獣医学校(現日本獣医生命科学大学)の校舎となりました。



旧東京市麻布区役所庁舎

1909(明治42)年に竣工した木造2階建ての庁舎には、1階に事務室が、2階に議場と職員控室が設置されていました。竣工時の図面は残っていないが、当時の学術雑誌^[1]や本学一号棟の屋根裏から発見された棟札から、工事の監督を東京市営繕課長小原益知が、設計を下谷区役所や浅草区役所の設計も行った小林鶴吉が担当したことがわかっています。

庁舎は、1923(大正12)年の関東大震災でも大きな被害を出すことはありませんでした。しかし1935(昭和10)年に鳥居坂町に建てられた新庁舎での業務が始まると、麻布市兵衛町の庁舎は役目を終え、使われなくなりました。

左: 麻布区役所庁舎
右: 庁舎の上棟に際し作成された棟札



日本獣医生命科学大学一号棟

1911(明治44)年に目黒村にて開校した私立日本獣医学校は、1926(大正15)年の獣医師法の公布を契機に武蔵野町への移転を決断します。この時、関東大震災を経て役目を終えた麻布市兵衛町の区役所庁舎を買い取り、移築したものが現在の一号棟です。なお、一号棟は現在の名称であり、移築当時は本館と呼ばれていました。

一号棟竣工当時の図面は見つかっていませんが、当時の写真から、移築に際し玄関ポーチの形を変える・窓の回りの装飾を撤去するなどの改修を行なっていたことが読み取れます。また、2012(平成24)年には、現在の建築基準法に適合するため、本館入り口の車寄せとバルコニー部分の縮小化工事が行われています。



左: 移築当時の一号棟
右上: 地鎮祭の様子
右下: 移築工事の様子

